

脳 神 経 外 科

研修科	脳神経外科	
指導体制	指導医 5 名 専門医 6 名	
認定	日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設 日本脊髄外科学会認定訓練施設	
概要	<p>当脳神経外科は、現在、日本脳神経外科学会脳神経外科専門医 6 名が在籍し、そのうち 5 名が指導医である。</p> <p>日本脳神経外科学会専門医制度認定訓練施設に認定され、日本脊髄外科学会指導医・認定医、日本脳卒中学会専門医が常勤し、脳神経外科領域の中でも専門性の高い各分野への対応を行っている。</p> <p>診療部門は、脳血管障害、脳血管内治療、脊椎脊髄疾患に分化されているが、後期研修医は各分野の主治医をしながら、指導医の下に専門知識を習得するとともに、自己の適性を見出すことができるように配慮している。</p>	
研修計画	卒後 3 年目～ 卒後 5 年目 (3 年間)	<ul style="list-style-type: none"> ○救急患者についての対応(心肺蘇生方法も含む) ○脳神経疾患患者の診察・検査・診断法の修得 ○脳血管疾患患者の治療法、管理法の修得(周術期管理法を含む) ○脳血管撮影法の修得 ○脳神経外科手術の基本の修得 <ul style="list-style-type: none"> ・脳室ドレナージ ・L-P、V-P シヤント ・慢性硬膜下穿頭術 ・開頭術 ・頭蓋形成術 ・急性硬膜外(下)血腫除去術 ・脳出血に対する開頭血腫除去術 など <p>以上の内容について、主治医グループの一員として繰り返し経験していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各疾患についての理解を深め、定期的に学術発表も行う。また、術者として経験する手術に関しては各々の習熟度に応じて指導医が判断して行う。 ・脳血管障害では顕微鏡手術の基本となる脳内出血除去術、脳動脈クリッピング術の基本手技を習得する。 ・脳血管内治療の修得にあたっては、まず診断の脳血管造影を 100 件以上を経験し、同時に急性期脳梗塞の血行再建術に加わる事で多くの経験を積み、頸動脈ステント留置術、脳動脈瘤コイル塞栓術等の修得を目指す。 ・外傷では手術適応の決定と急性硬膜外・硬膜下血腫が術者として行え、頭部外傷の救急対応が出来ることを目標とする。 ・脳腫瘍においては、腫瘍組織に応じた治療法や腫瘍摘出のアプローチ選択を習得する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脊髄・脊椎疾患では症状と画像診断から責任病巣レベルを診断でき、頸椎・腰椎の前方後方減圧及び固定術の基本手技を習得することを目標とする。 ・ 3年間の後期研修プログラム終了後、専門医取得コース・学位取得コースなどの選択が可能である。
取得できる資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本脳神経外科学会専門医：研修5年目（卒後7年目）に専門医試験を受験。 ・ 脊髄外科認定医：脳神経外科専門医の資格を有し、学会に4年以上在籍している。 ・ 脳血管内専門医：症例を蓄積し、指導医のセミナーを受けて受験。

【手術件数 実績】

(単位：件)

平成 26 年度実績			平成 27 年度実績			平成 28 年度実績		
合計	全麻	局麻	合計	全麻	局麻	合計	全麻	局麻
418	306	112	447	388	59	535	465	70

※手術室にて行っている手術実績数

【アンギオ件数 実績】

(単位：件)

平成 27 年度実績	平成 28 年度実績
172	170

【ハイブリッド手術室】



【脳血管内治療（アンギオ）指導風景】